

## 第21回定時総会 開催

第21回定時総会は、2019年3月30日(土)午後1時30分から立川・柴崎学習館 視聴覚室で、在籍会員13名中7名が出席して開催されました。

総会は 渡辺代表幹事の司会で議事進行し、会員各位による活発な意見交換が行われました。

議案は、平成30年度事業報告、平成30年度会計報告と会計監査報告、平成31年度事業計画案、平成31年度会計予算案、平成31年度役員選出の順に滞りなく執り行われ、承認されました。なお、総会終了後引き続き、4編の自主作品発表と会員相互の意見交換が行われました。



## 定例会実施記録

年月日	出席会員数	アドバイザー	発表作品数	備考
平成30年4月28日	6名	—	3本	
平成30年5月26日	4名	2名	5本	NHK 会議室 最後
平成30年6月30日	7名	2名	8本	芝崎学習館、見学者4名
平成30年7月29日	6名	1名	5本	
平成30年8月25日	—	—	—	アドバイザー欠席で休会
平成30年9月15日	8名	1名	8本	
平成30年10月27日	7名	2名	6本	見学者2名 (アースオン)
平成30年11月24日	6名	2名	6本	見学者1名
平成30年12月22日	8名	2名	7本	見学者1名
平成31年1月26日	7名	2名	6本	見学者1名
同上	5名	招待者3名	—	新年会
平成31年2月23日	6名	2名	6本	見学者1名

### 平成30年度事業報告 (渡辺代表幹事) :

在籍会員数は19名から13名に減少した。定例会は、5月までNHK 会議室(20年間使用)6月以降は現在の柴崎学習館で開催した。『多摩アマビ会報』は第171~181号を発行した。

### 平成30年度会計報告 (飯山会計幹事) :

### 平成31年度予算案 (飯山会計幹事) :

黒沢会計監査役により承認された。

### 平成31年度事業計画案 (渡辺代表幹事) :

6項目の事業方針と具体的計画が示され、下記方針が

討議された。

- 撮影会：実施する方向で進める、但し、雨天の場合、参加希望者が少数(5名未満)の場合は中止し、定例会に切り替える。
- ビデオコンテスト：参加者数が少ないこともあり、廃止する。
- 公開セミナー：浜谷名誉会員にお願いできる可能性があるため、同氏と連絡先・打ち合わせを密にして実施の方向を探る。
- 追加議案：会報の余白が広いので、その埋め草用として会員の撮影機材、編集ソフト等の調査・提出を依頼する。

## 平成31年度役員選出

会員相互の投票により、渡辺寛、榎崎茂彌、片山正晴（以上再選）、小川 旭（新任）が選出された。

### 1. 自主作品の発表

片桐 康弘さん「白糸の滝(静岡県)」 2分13秒 (HD)



BGM と同様にユッタリした雰囲気を出すため、1カット・1カットを長くしました。カットの長さはもっと短

くした方が良いのか、講評をお願いします。

黒澤 真さん「インド北部の旅No.2」12分7秒 (HD)



インドに初めて旅行する人に人気の黄金の三角地帯と呼ばれる、デリー、ジャイプール、アグラを巡る旅行記録

です。車の渋滞に巻き込まれましたが、お蔭で車窓から町行く人達を撮影できました。タージ・マハルの景観をお楽しみください。

片山 正晴さん「はやぶさ2 (2)」12分 (HD)



前回の作品に「タッチダウン」に成功した記事を追加しました。編集面では、本文にアニメの人物を登場させて、ナレーシ

ョンに人工音声を併用しました。

小川 旭さん「或るミステリー作家」10分 (HD)



ストーリーを明確にする事に重点を置き、撮り直し及び再編集をしました。10分に収めることに努めました。

## みんなの広場



新会員

片桐 康博

写真はクラブに入り六年間勉強していますが、ビデオについては知り合いのサバイバルゲームを二、三回撮影編集しただけで、専門用語も分りません。その当時はYouTubeに直接アップしていたのでネット上で観閲でき、プレイヤーで見る場合と仕組みが違つことを知りませんでした。

この前持参したブルーレイディスクはオーサリングソフトで出力してないので再生できないはずですが。

これからも皆様に色々お聞きして勉強したいと思います。どうかよろしくお願いします。

### 5月以降の定例会の予定

5月11日(土) 柴崎学習館 第2教室

6月29日(土) 同上 第1教室

7月27日(土) 同上 第1教室

開催時刻はいずれも13:30からですが、早めに来場して会場準備等に協力をお願いします

(編集後記)

初春の令月にして、気淑く風和ぎ、

梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す

(出典：万葉集)

慣れ親しんだ「平成」から「令和」へ引き継がれる元号、馴染む迄には暫く時間が必要ですが、これから新しく始まる日本の“繁栄と平和”を祈念します。

(片山 正晴 記)